

起因物、事故の型：木材、竹材 - 転倒の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
2	9~10	住宅建築現場にて、1階天井の下地作成中、脚立から下りようとして、床にあった6cm×6cm×30cmの木材の上に右足がのり、足首をひねり、骨折したものである。	66	30209	—
2	9~10	土台代引を車の横に置いて、その横を通っていた時、左足が金具に引っかかり転倒し、左足の膝下辺り、5cm程深く切り、縫った。	49	40301	30~49
2	9~10	倉庫内でリン木を片付けていたところリン木に躓いて、背中から転んだ。その時背中を打って肋骨1本を骨折した。	63	40301	30~49
3	16~17	資材置場にて1人で作業中に、物置上の資材を取るためにバタ角（120mm×120mm）の上に乗って作業をしていたが、バランスを崩してしまい、そのまま倒れて左足首を捻り負傷した。	22	30201	30~49
3	10~11	倉庫でダンボールを搬出中、床の板がずれていたのに気付かず、足を取られて転倒し、右肩を強打した。	54	80209	1~9
4	11~12	敷地内の竹林において、伐採した竹を粉碎機で細かくチップ化するため機械まで運ぶ際に、竹の切株を踏んでしまい、左足首をひねって負傷した。	33	30199	10~29
4	21~22	トラックの荷台で積み荷を固定しようと木箱（257×102×25cm）を飛び越えようとした際、木箱に足をひっかけ転倒し、右足首外側くるぶし下を剥離骨折をした。	49	40301	10~29
4	10~11	ネギトロを作成するライン上で、右方向から流れてきたネギトロが本人の左側にあるローラーによって平らにされるのだが、右側に気をとられて左手をついた所、ローラーに巻き込まれてしまった。	39	10901	1~9

4	3~4	当支店構内において仕分け作業をしている際に、トラックの荷台とホームを繋いでいる鉄板の高さを調整する為に、鉄板の下に敷いた木材にまずいて転倒し、左膝蓋骨を骨折する。	60	170101	30~ 49
4	10~ 11	平たんな場所で伐採作業中、伐倒して退避する際に転倒し、倒した木に足をすくわれ右足を骨折した。	37	60201	10~ 29
4	10~ 11	会社資材置場にて、片付け作業中に重ねていた合板の上で足を滑らせて横向きに転倒し、右側の腕と足を打撲した。	67	30105	30~ 49
4	14~ 15	匠工房にて、工房内の片付け作業を行っていた。片づけながら工房内を移動していた際、作業台（H800mm）に置いていた製作物に腰をぶつけてバランスを崩し、左に転倒して腰を打ち骨折した。	73	10503	1~9
5	14~ 15	200t自動ブレスの作業が終わり、次の100t自動ブレスの作業に入る際、通行禁止の通路を通り、板に躓き転んで左膝靭帯を損傷した。	56	10806	30~ 49
5	9~ 10	製材工場内で、製材した木材から4m×4.9cm×2.1cmを作るため2人で作業中に、下に置いてあった木材の隙間に足を突っ込んで倒れ、足首が曲がって負傷した。	52	10401	1~9
6	8~9	事業場で借り上げしている駐車場での災害車から降り、横にあった木材に躓き転倒した。	49	130102	1~9
6	19~ 20	休憩時間に屋外へ出ようと工場内を歩行中、前方に製品を置くための板を発見し、そのまま踏み越えようと足を乗せたところで板が滑り、転倒して右膝を強打した。	39	10805	10~ 29
6	19~ 20	休憩時間に屋外へ出ようと工場内を歩行中、前方に製品を置くための板を発見し、そのまま踏み越えようと足を乗せたところで板が滑り、転倒して右膝を強打した。	39	170101	10~ 29
6	12~ 13	清掃ターミナル女子更衣室にて、帰社準備（着替え）が終わり、ロッカー横にある傘を取ろうとした時、足元に着替え用の板（長さ180cm×幅45cm×高さ5.5cm）があり届かなかった為、板の端に足をのせようとしたが、板に引っ掛かり転倒した際、床（コンクリート）に左手をつき負傷	59	150101	100 ~ 299

		したものである。（当日は、かかとのないサンダルを履いていた。） 今後は、履き物を脱いで、着替え用の板にのって行動するようにする。			
6	6~7	店内で月1回行うミーティングが終了し、後片付けのため立ち上がって歩きかけた時、作業台横の梱包機の下に床の保護のために敷いてある、厚さ1.5cm程の板の角に足をとられ転倒した。その際、左肩を床に強打して負傷した。	80	80205	30~ 49
7	9~10	事業所内作業場において、木材の片づけ作業をしていたところ、足元の木材に躓いてしまい、その際右ひじから転倒し右肩部と肋骨付近を負傷した。	78	10503	1~9
7	8~9	当社置き場において加工前の在庫であるベニヤ板（600×1800×2）の移動作業中、平積みされていたベニヤ板約100枚（高さ約1.3m）の上でバランスを崩し、足を踏み外し左足を平積みのベニヤ板とベニヤ板の隙間に落とし受傷した。	23	30201	1~9
7	15~16	解体工事現場内において、廃材の分別作業をしている時、陶器廃材を運んでいる際、現場内に散らばっている廃材につまずき転倒し、持っていた陶器廃材が割れ、右手首を切り、負傷した。	54	30202	1~9
7	9~10	店舗ホール内で、下げた食器を台の上に置き、戻ろうとした際に台の脚にサンダルが挟まって転んでしまい、近くにある台に頭部をぶつけてしまった。	57	140201	—
7	8~9	トラック荷台の部材運搬中、後ろ向きに移動していた際、足元に落ちていたロール材を踏んでしまいバランスを崩し、後ろへ転倒した。	28	11502	1000 ~ 9999
7	10~11	事務所入口にて、商品を取りに行こうとした際、木製の板の上で転倒した。その板は、半分には滑り止めがあり、通常は事務所の出入り用に使っているが、そのときは滑り止めがない半分の方を、滑り易い靴で歩いて転倒し、背中の上部を打った。	53	80101	1~9
7	16~	事業所倉庫作業場で増築工事中、テント（ブルーシート）片付ける際、	58	30202	1~9

	17	角材に躓いて転倒し、右中指の第2関節を脱臼した。			
9	9~ 10	現場にて、ミキサー車をバック誘導している時に、ミキサー車がカーブに差し掛かった所で、テントの横に置いてあった材木に気づかず後方に転倒して左手をついた際に被災した。	50	170201	100 ~ 299
9	16~ 17	住宅建築現場において、被災労働者がバルコニー土間枠固定の貫を引き抜こうとしたところ、貫が折れてそのまま700mm高低差のある右後方に倒れ込み、地面に右手をつき負傷した。	39	30201	1~9
9	14~ 15	自社の資材置場で、段取り中に、足元に置いてあった資材につまずき転倒した時に左手をついて、その左手を骨折した。	21	30209	1~9
10	14~ 15	乗馬クラブ内の各種運搬作業中に高い箇所からの荷受け作業時に、足元にあった木材に乗って作業していたところ、木材の一部に穴が開いており、その穴に足首がはまり込み、その部分を中心として転倒した結果、骨折となった。	36	170101	10~ 29
10	11~ 12	自社食品倉庫駐車場にて、駐車中の2t冷凍車で荷物の整理整頓中、車内の敷板（厚さ約2cm）につま先が引っ掛かり、左側より腕を着くように転倒し、左肘を強打し、負傷した。	59	170209	1~9
10	9~ 10	製材工場の中で木材の整理をしていた時、木材につまずいて転んだ。	59	10401	1~9
11	13~ 14	社長の指示により、当社の土場（資材置き場）内で、コンクリート基礎工事に使う、「型枠」や「抜き板」を洗浄して、破損材を選別して養生する作業を行っていた時、トラックの荷台に積み置かれた「抜き板」を、結束していたロープを解き、引き抜こうとしたが、抜けなかったため、再度、力一杯、手前にロープを引いたところ、突然、ロープが引き抜け、そのまま勢い余って斜め後方に転倒した。その際、トラックのあたり部分に身体を強打して負傷した。	76	30309	1~9
11	9~ 10	集卵作業中、2号舎から5号舎へ歩行にて移動している時、薄いベニヤ板に足を取られ転倒した。その際に左足をひねり、右手を床について負傷	69	70101	10~ 29

		した。			
11	15~ 16	竹林横斜面にて、イベント用竹を伐採し、運搬中落葉に足をとられ、竹と共に右手首から転倒し、骨折する。	30	170209	10~ 29
11	15~ 16	工場1階北側三次元測定室前にて、作業台作成中、木製のボードを2人で持ち上げる途中、足元にあった木パレットに引っ掛かり、バランスを崩し、床に右膝から強打し皿が割れ負傷した。	44	11502	50~ 99
11	12~ 13	現場で測量作業中に、丸太倒木を踏み越えようとして丸太に足をかけたところ、足を滑らせてバランスを崩し転倒し、左脇腹を丸太で強打した。	51	30199	1~9
11	10~ 11	自社の植木畑で草刈りと枝切り作業後の片付け中、集めた草や木の枝に乗って、足が滑り転倒した。	45	30209	1~9
12	10~11	製品倉庫にて製品出荷の為、鉄筋のバラ数取り作業を行っていた。数取り作業終了後、次の作業に移る為、5番出荷口に移動中、進行方向に製品の別山があった為、製品の上を移動し降りた（鉄筋束2段積、高さ約40cm）。その際、足元の枕木に左足から着地したが踏み外し、バランスを崩して転倒し、足首を捻じってしまった。そのまま作業は継続したが、夜に入浴する際、腫れがひどくなっているのに気付き、翌日整形外科を受診し、靭帯損傷と診断された。	22	11001	100 ~ 299
12	16~17	倉庫内で、材木（長さ3600mm、幅150mm）を定位置に保管するため、立てかけていたところ、振り向きざまに1枚（約7~8kg）の材木が倒れてきて、背中から頭部を直撃し、その勢いで体が前のめりになり、顔面を地面（コンクリート）に強打した。	68	10503	10~ 29
12	16~17	舗装工事中、養生用のプラスチックベニヤ板が風で道路に飛んだため、慌てて拾いに行き拾い上げたが、右足でその板を踏んだまま拾い上げてしまい、滑って転倒し、アスファルト路面に左膝を打ちつけた。	46	30201	10~ 29
12	14~15	本社工場内にて横切り作業中、製品の寸法カット後、余った製品を2m先の仮位置に移動中に、他の置いてあった材料に誤って足を引っかけて転	44	10409	10~ 29

倒し、右足脛と踵を負傷し、そのまま入院となった。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html